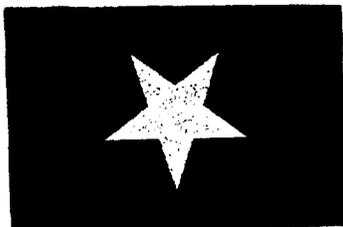


0:037:00

横浜プロバス倶楽部 会員放談



## ベトナム 見聞録

～ベトナムを見たり聞いたり～

平成 24 年 7 月 13 日

会員 本橋 ふみ子



1. ベトナム旅行に出かけたきっかけ
  - ・日本に似た形の国
  - ・米の文化
  - ・横浜に多いベトナム人、難民受け入れ

### 2. ベトナム旅行日程と訪問都市

旅行日程・平成 23 年 10 月 29 日～11 月 5 日 7 泊 8 日

訪問都市・ハノイ (北部) ～ ハロン湾 クルーズ (世界遺産)

・ダナン～ ホイアン (中部) 日本橋 (世界遺産) 御朱印船の歴史

・ホーチミン (南部) ～ ミトークルーズ (メコンデルタの町)、市内観光

### 3. 旅して感じたこと、また訪れたい国＝ベトナム

#### これだけは覚えて! 基本のあいざつ

こんにちは—— Xin chào…シン チャオ  
 ありがとう—— Cảm ơn…カム オン  
 ごめんなさい—— Xin lỗi…シン ローイ  
 さようなら—— Tạm biệt…タム ヴィエット  
 私は日本人です。—— Tôi là người Nhật…トイ ラー グォイ ニャット  
 どういたしまして—— Không có gì…コン コージー  
 どうぞ—— Xin mời…シン ムオーイ  
 英語を話せますか?—— Anh nói được tiếng anh không?  
 アイン ノイドウオック ティエン アイン ホン?

## ベトナム Vietnam

挨拶 腕組している、目上に尊敬、

私の行った、知っている、ベトナム、を紹介します。

- 1.地図
  - ・日本に形が似ている ~九州を除く大きさ
  - ・飛行機で 6時間ほど、
  - ・時差 2時間 (ベトナムが早い)
- ・米の文化 ベトナムは、雨期 (10月~1.2月) と乾期 3月~9月) しかないで年に3回米がとれます。  
そのまま食べる、粉にして、フォ、ライスペーパーにする。  
朝食は外で、食べる、朝からフォー食べます。

学校少ないから (2部制) 午前、午後に分ける、

会社は、7時30分から始まるため。暑いので昼休み2時間とる。5:30まで。

夕ご飯は、家庭で食べる。

- ・難民の受け入れ、神奈川県多い、とくに ヨコハマ

2万人超、大和し、ザマキャンプ

:以前、横浜市の職員時代に交流あった、難民一世が通訳していた、私の友人=チャ

## 1975年ベトナム戦争終結~ヒーロ「ホー・チ・ミン」

国民からは、バック・ホー (ホーおじさん) の愛称で 親しまれている。

・バイク=ホンダ 性能がよい。大人2人、12歳以下の子供まで一緒にのれる。交通量は、アジア随一、ヘルメットいる。マスクしている。女性は日焼け気にする。長袖を昼間きている。夜はノースリーブでおしゃれにシースルーを着る。・レストランでおしぼりは、有料。スーパーは、かばんは、スリよけでガードしてもらう。切らないとおけられない。・横断歩道がない、バイクが、走ってくる方を見ながら、ゆっくり歩く、絶対に走らない。~経験した。・水道水は飲めない。ミネラルウォーター。・おいしいフルーツ、~ドラゴンフルーツ、マンゴ、ランブータンなど珍しい、竜眼 も食べた。・海鮮もたくさんとれておいしい。定年 50~55歳 公務員 終身雇用でない、ボーナスない。いいところあればすぐ仕事先かえる。日系企業 進出しているの、そこは、ボーナスある。ハロン湾 水上生活している。現地人は高いのでなかなか行けないリゾート地。健康保険がないので病院にいけない。売薬を買う、高いがよく効く。日本の薬など持っていき、(胃腸薬、ムヒ、等) 日本のタオル、衣類、エンピツ等、もっていき、寄付した。次回も行くのであれば寄付募ります。

・インドシナ半島の東に位置し、北は、中国、西はラオス、カンボジアと国境を接するベトナム。南北にS字型に細長く延びる。

・北部の中心としては、首都でもあるハノイ。政治の中心を司り、2000年の歴史を持つベトナムの首都。旧市街には、仏領時代のノスタルジックな町並みが残る。買い物、グルメ、水上人形劇なども楽しめる。工業団地（日本）は大手企業の、パナソニック、東芝等進出している。外資系ホテル（インターコンチ）は素晴らしい。アメリカ人、ヨーロッパのバカンス客が多い。

1994年世界遺産（自然）ハロン湾、ベトナムきっての景勝地大小2000以上の奇岩が林立し、「海の桂林」と称され、水墨画のように幻想的な風景が広がる。マングローブの林や鍾乳洞、滝等の見どころも多い。ハ=降りる ロン=龍を意味している。

その昔、外敵の侵略に悩まされていたこの地に龍の親子が降り立ち、敵を打ち破り宝玉を吹き出した。それが、奇岩となり、外敵を防いだと云われる。

クルーズ船のホテルに泊まり、大型船でいけない。奇岩洞窟等手こぎボートでいく。深いエメラルドグリーンの海は、神秘的。世界各国の旅行者の注目を集めている。観光開発も著しい。

・中部はダナン、ホイアンの海岸沿いには、ビーチリゾートや古都ホイアンは1999年、世界遺産（文化）の日本人町があったらしく来遠橋（らいおんばし）日本橋（木造の屋根付きの橋）がある。当時ホイアンにすむ日本人達「最盛期は1000人以上」によって架けられたと考えられており、頑丈な造りは「地震にも耐えられるように」との意味合いが、奥行きが深く、細長い木造建築の家々が、約450件立ち並ぶ様子は、京都の町を連想させる。ベトナムのほかの町とは、異なり、どこか懐かしく、ほっと心とむ雰囲気がある。その後江戸時代の鎖国政策で日本人町が衰退したあとは、華僑の人々が多く移り住んだため、江戸時代には、朱印船貿易にて、やってきた日本人商人たちの活躍に想いをはせながら町を歩くとぐんと、ベトナムが身近な国に感じられた。

朱印船貿易でいろいろな物資のやりとりが行われていました。

- ・日本～銀、銅がベトナムへ
- ・ベトナム～生糸、絹・シナモン、象牙、サイのツの、球磨やトラ等の動物のつめや、皮、が日本へ
- ・現在、この貿易の名残として、以下の文化がそれぞれの国で育ったそうです。
- ・日本のしょうゆのルーツは、ニョクナム という説。
- ・日本の凧上げは、ベトナムから伝えられました。
- ・ベトナムのシクロは、日本の人力車が1956年ころまでベトナム中部で使われ

ており、その後 シクロへ変身。

・日本の技術として、地引網や投げ網（漁法）・ミツバチの養蜂を伝えました。

観光の中心となるのは南部のホーチミン。

ベトナム戦争が終結し、会報される 1975 年までは、「サイゴン」と呼ばれていた。ベトナム最大の商業都市。人口 716 万人。年々増加、町は、サイゴン川の西側に開けていて、かつて「プチパリ」といわれたが、いまは、整然と並ぶ街路樹や、コロニアル様式の建物、カトリック教会がホーチミン人民委員会、が、面影残すのみ。高層ビルが増え、外国企業の広告看板が林立。しゃれたレストラン、ロータリーは、一日中車、バスであふれかえっている。ベトナムパワーが満喫できる。

一方で、昔と変わらない市場[ベントイン]に行けば、メコンの恵みをいっぱい授かった南国特有のフルーツ、野菜が山積みされ異性のいいおばさんが行き来する。

普段着のホーチミン市もいたるところで目にした。

戦争博物館、中央干局、サイゴン大教会、

近年、ベトナムは、物価上昇が激しく、あらゆる料金が数カ月単位で上昇し、インフレ状態がつづいている。

とくにホテル代はここ数年で2倍にまで値上がりしたところもある。